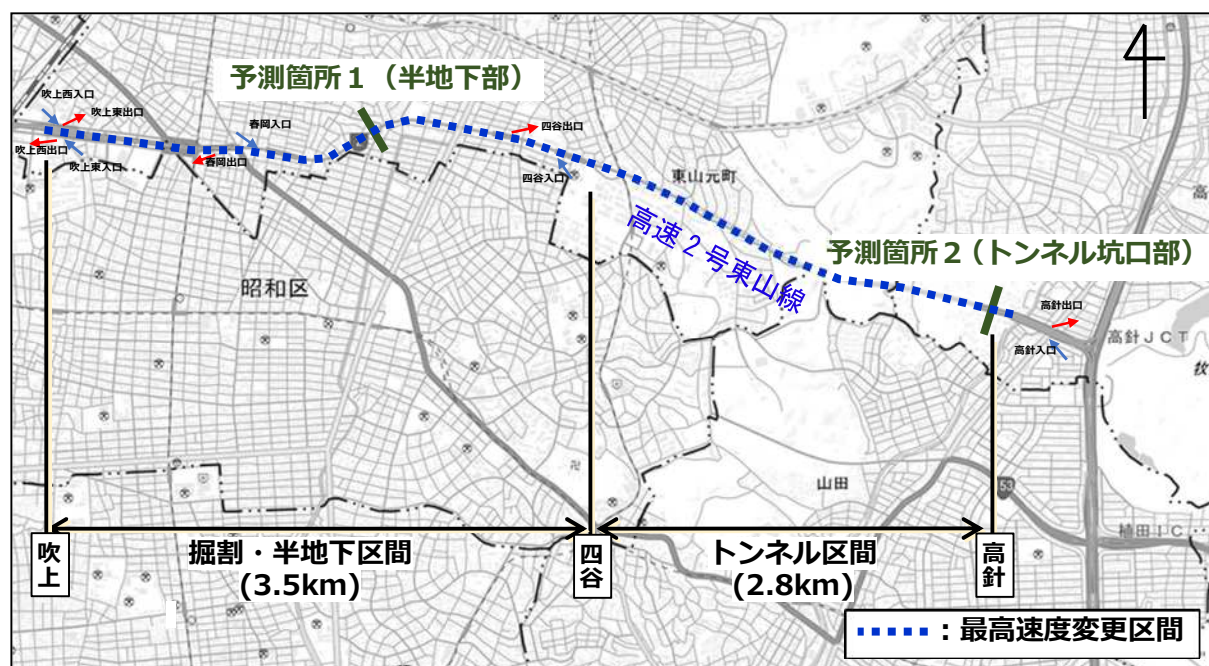


高速 2 号東山線（吹上～高針）区間

最高速度の変更に伴い騒音及び大気質の予測を行った結果、環境基準を満足することを確認しております。

〈予測箇所〉

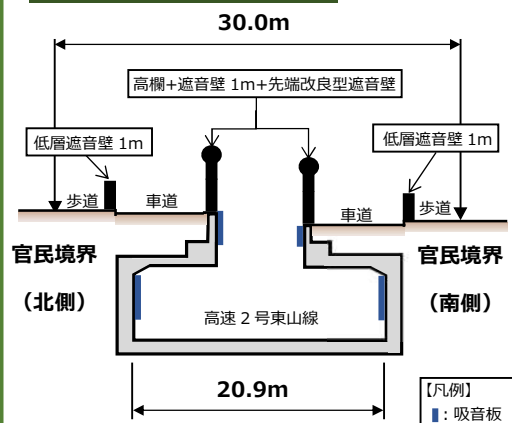
予測箇所は以下のとおりです。



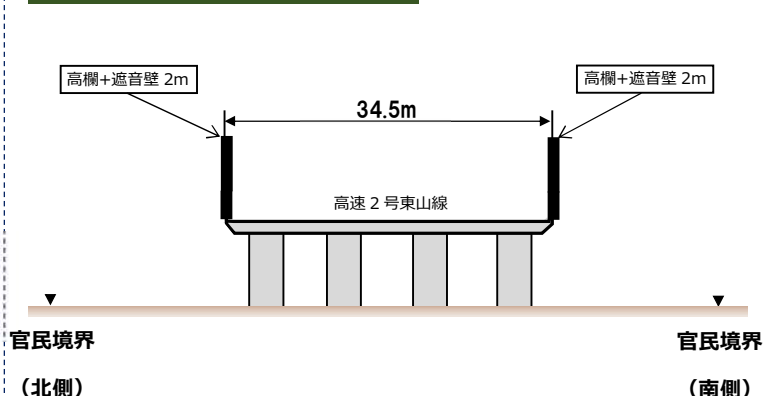
〈断面図〉

予測箇所の断面図は以下のとおりです。

予測箇所 1 (半地下部)



予測箇所 2 (トンネル坑口部)



〈予測結果〉

最高速度の「変更前（50km/h）」と「変更後（60km/h）」における騒音及び大気質の予測結果は以下のとおりです。

【騒音】

表 1 騒音の予測結果

(単位：dB)

予測箇所			最高速度	予測値				環境基準		評価
				昼間		夜間		昼間	夜間	
予測箇所 1 (半地下部)	北側	官民境界	変更前	62	67	55	59	70	65	○
			// 後	63	67	55	59			
		官民境界から 20m	変更前	58	59	50	51	65	60	○
			// 後	59	60	51	52			
	南側	官民境界	変更前	61	66	52	57	70	65	○
			// 後	61	66	52	57			
		官民境界から 20m	変更前	58	58	49	49	65	60	○
			// 後	58	59	49	50			
予測箇所 2 (トンネル 坑口部)	北側	官民境界	変更前	55	56	48	48	70	65	○
			// 後	56	57	49	49			
		官民境界から 20m	変更前	52	53	44	45	65	60	○
			// 後	53	53	45	46			
	南側	官民境界	変更前	55	55	47	48	70	65	○
			// 後	56	56	48	49			
		官民境界から 20m	変更前	52	53	44	45	65	60	○
			// 後	53	53	45	45			

※予測値は、昼間は 6 時～22 時、夜間は 22 時～6 時の等価騒音レベル（ L_{Aeq} ）を示します。

※環境基準は「騒音に係る環境基準」に基づき、官民境界は「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値、官民境界から 20m は「道路に面する地域」の基準値を示します。

※予測に用いた将来交通量は、都心アクセス事業完成後に最大となる年次を考慮した平均的な計画交通量を用いています。

【大気質】

表 2 大気質の予測結果

予測項目	予測箇所	最高速度	予測値	環境基準	評価
二酸化窒素 (NO_2) 単位：ppm	予測箇所 1 (半地下部)	変更前	0.025	0.04～0.06 以下	○
		// 後	0.025		○
	予測箇所 2 (トンネル坑口部)	変更前	0.023	0.04～0.06 以下	○
		// 後	0.023		○
浮遊粒子状物質 (SPM) 単位： mg/m^3	予測箇所 1 (半地下部)	変更前	0.035	0.10 以下	○
		// 後	0.035		○
	予測箇所 2 (トンネル坑口部)	変更前	0.035	0.10 以下	○
		// 後	0.035		○

※予測値は、環境基準と比較するために NO_2 が 1 日平均値の年間 98% 値、SPM が 1 日平均値の年間 2% 除外値を示します。なお、評価値は地上 1.5m の位置となります。

※環境基準は「大気汚染に係る環境基準」に基づく基準値を示します。

※予測に用いた将来交通量は、都心アクセス事業完成後に最大となる年次を考慮した平均的な計画交通量を用いています。